

幅広い公的機関による支援で 知財を活用し快適な 環境づくりを提供



利用のきっかけ

★ 製品開発過程で生まれた新たな技術（稚内層珪藻頁岩を使ったタイル「すこやかブリック」の製造法）とその技術を応用した関連商品（消臭効果のあるグリル用敷石「魚焼き倶楽部」）に対するネーミングを特許及び商標として権利化するため、工業試験場の担当者とともにINPIT知財総合支援窓口を訪問しました。

事業上の課題

★ タイルの製造法の特許出願については先行技術調査が不十分、グリル用敷石の商標出願については「商品と役務」の範囲が不明確で、かつ類似商標の調査も不十分でした。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

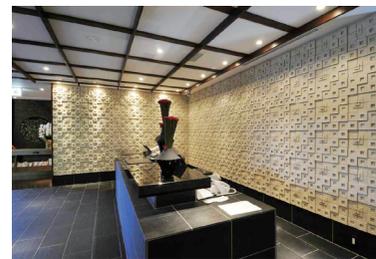
ジェイプラットパット

- ① J-PlatPat による検索指導と出願協力
- ② 特許出願から権利化までの流れを説明
- ③ 中間手続、特に拒絶理由通知書への対処について助言
- ④ 補助金制度や中小機構北海道本部による経営面での支援制度の紹介
- ⑤ 商品開発・市場等に関する定期的な情報交換

活用した専門家 弁護士

株式会社加賀谷ブリック

所在地	北海道釧路市
設立案	1996年
業種	製造業
従業員数	1人
資本金	1,000万円
ホームページ URL	https://www.kagayabrick.com



知財ポータル
窓口支援事例



製造業

北海道

利用後の変化

支援を通じて当社に適したビジネスプランが明確化され、取得した知的財産権を有効活用した事業展開が可能になりました。他社特許の活用と共同研究後の特許取得も経験したことで、製品開発における知的財産の位置づけ、その効果・重要性を強く認識しました。

製品開発に取り組む姿勢と知財意識の高さが徐々に道内外で認知され、高い評価を得たことで、出資を希望する会社も現れ、2011年には念願の株式会社化を果たしました。引き続き新たな特許、商標も取得し、製品は道内の有名ホテルで採用されたり、本州でも広く販売されたりしています。

事業の拡大に伴い、美唄の福祉工場に生産を依頼するようになり、企業理念のひとつである「知的障がい者が働く場所の創出」に結びついていることは大きな喜びです。

ご利用を検討される事業者さまへ



複数の公的機関から支援・協力を得て自社製品を開発し、その製品を特許と商標で権利化できました。その結果、北海道独自の天然素材を北海道独自の特許技術で製品化した当社製品のブランド化にもつながり、いわゆるIRツールとしても評価されています。

北海道の地域ブランドイメージの高まりや製品が持つエコな印象に加えて、INPIT知財総合支援窓口の支援や工業試験場との共同開発といった公的機関との連携が、バイヤーが商品選択する際のエビデンスになってくれます。知財経営への効果を大いに実感しています。

株式会社加賀谷ブリック 代表取締役 加賀谷淳一様